

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：34507

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇学習などについてのアンケートを昨年度と比較すると以下「 」内が肯定的な結果となった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人の役に立ててうれしいと感じる」「人の役にたつ人間になりたい」 →総合的な学習の時間や学校生活のあらゆる場面において、「仕事をする」ことの価値や意義を感じ取っていることが推測される ・「新しく学んだことを、他の学習や生活の場面で使おうとしている」 →学校生活のあらゆる場面で学習や行事を通して育む姿勢が身に付いていることが推測される ・「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の意見を見直すことがある」「健康のために、自分には何か必要かを考えて生活しようとしている」 →教科や行事などから、内省することの価値に気付く生徒が増えたと推測される <p>これらの結果から、仲間との生活の価値に気付いていることが推測される</p>	<p>◆他項目と比較して、肯定的な回答が少ないものは以下である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「失敗を恐れず、勇気をもっていろいろなことに挑戦する」 ・「自分の意見を進んで発言しようとしている」「端末を利用した意見交流」 ・「振り返り」の充実 ・「自分で計画を立てて勉強している」「スマホなどの利用に関わる自己調整」 ・「先生や家族以外など必要な時に相談できる大人がいる」 <p>これらの結果から、主体的に取り組む態度の育成が不可欠であることが示唆される。そのため、今年度は、「チーム担任制の実施」や「生徒の主体性を育む授業実践および交流」、「ICTの活用」、「生徒の主体的な取組を促す行事の在り方検討」により、生徒が自己調整したり、粘り強い取組を行おうとしたりする活動の支援体制の構築を課題とする。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇学習などについてのアンケート「自分にはよいところがある」では90%以上（うち45%はそう思う）、「自分が必要とされている」では、80%以上の肯定的回答となった。昨年度と同様に、自己有用感の感度に関する数値が高い結果となった。</p> <p>→上記考察における「協働的に学ぶ姿勢に前向き」な特徴から、生徒が互いに認め合い、共に支え励まし合うなど、安心・安全の場が構築できているといえる。より良い取組を進めるために、チーム担任制を軸とした学校組織の確立と学校行事の精選に努めていく。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

未来を見据え、自ら考え、判断し行動する生徒の育成 ～あらゆる教育活動を通して、生徒の主体性を育む～

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	<p>(1) 生徒が主体性を発揮しながら、自分の尺度で課題解決に向かうために</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科 → 学習課題を大切に生徒自ら解決に向かう姿勢 特別活動 → どのような資質能力をはぐくみたいかを明確に 総合 → 各教科で学んだ方法を生かし、探究する <p>(2) 教師側の手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 見方・考え方を生徒が意識できるように 2 学習課題の捉え（どのように生徒が捉えるか） 3 総合、特別活動の授業づくりの工夫（探究の在り方） 4 診断的評価（質的分析・量的分析） <p>(3) 個別最適化された学びの構築に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自分で学びを創る必然性を感じているか ・交流場面は何をするのか、目的が明確になっているか ・見通しや振り返りが学びの中で機能しているか ・主体性が発揮されている姿 <p>会話→対話→会話、黙々と考え続ける、目をキラキラさせている</p> <p>他の教科に生かすことができる（知識の転用）</p>	<p>(1) よりよい学級・学年にするための活動の充実（総合的な学習の時間「Σタイム」との連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一役の仕事分担 ・「働くとは?」「仕事とはなにか」を探究することを目的として、「職場インタビュー」「職業体験」を実施 <p>(2) よりよい学校にするための行事の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内陸上競技大会 ・「雪」に関する行事の小・中・地域連携 ・中体連、中文連応援メッセージ <p>(3) よりよい学校にするための委員・係活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハートフル宣言 ・朝の挨拶運動 ・登校時清掃 <p>(4) 主体性を高める活動の構築（自主的な活動の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動と行事の一層の連携 ・委員会活動発信のボランティア活動（雪・環境・読書） ・小中連携の自分ごと化（生徒会活動と児童会活動 など） ・チーム担任制を軸とした組織の確立 ・学校行事を主体的に取り組ませるための1年「陸上大会」「秋華祭」など
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
◇	学習過程の見える化	思考、調べたこと、振り返りなど、自分自身や他者と共有する
◇	対話的な学びの活性化	誰でも参加可能な対話的活動の実現
◇	課題探究的な学習の高度化	個別化された情報収集、比較・検討・再構成
◇	個に応じた学びの保証	個別化された進捗、家庭学習との連動、学び直しや補充学習への活用
◇	振り返りを横から縦に	9年間の縦のつながりを振り返るポートフォリオとしての活用
◇	生成AIの活用	アイデアの出発点、情報リテラシー能力の育成

<本プログラムの実行に向けて>

